注記　１．本学が有している土地、建物の一部（23,325,324,474円）を大学改革支援・学位授与機構長期借入金（11,719,028,000円）の担保に供しております。
２．未収附属病院収入のうち783,538,339円が契約資産、5,221,050,373円が顧客との契約によって生じたものです。
３．期末における債務保証の総額は443,006,259円であります。
４．運営費交付金から充当されるべき退職一時金の当期末見積額は11,102,885,772円であります。
５．運営費交付金から充当されるべき賞与の当期末見積額は801,399,261円であります。
６．ＰＦＩによるサービス部分の対価の支払予定額は次のとおりです。
①　貸借対照表日後１年以内のＰＦＩ期間に係る未経過ＰＦＩ費用　23,018,518円
②　貸借対照表日後１年を超えるＰＦＩ期間に係る未経過ＰＦＩ費用　506,407,396円
なお、支払予定額は、物価変動に伴い改定されることがあります。
７．利益剰余金のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するものは以下のとおりです。
①　国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの
附属病院に関する借入金の元金償還額の累計　43,129,525,169円
当該借入金により取得した資産の減価償却費の累計　31,472,141,143円
利益剰余金に与える影響額（差引き）　11,657,384,026円
②　国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの収益化額が二重になっていることによるもの
法人移行時に国から承継した資産について承継時に負債として計上していた額のうち、資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する当該負債の収益化累計額　1,142,293,053円
③　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資でなく譲与としたことによるもの　26,886,032円
④　国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資ではなく譲与としたことによるもの　653,276,272円
13,479,839,383円

損　益　計　算　書

（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

（単位：円）

経常費用			
業務費			
教育経費		2,450,845,077	
研究経費		3,616,450,007	
診療経費			
材料費	14,755,957,569		
委託費	2,481,587,657		
設備関係費	3,949,169,942		
研修費	1,384,900		
経費	1,364,738,214	22,552,838,282	
教育研究支援経費		261,235,512	
受託研究費		1,223,636,964	
共同研究費		548,565,499	
受託事業費等		293,860,651	
役員人件費		152,315,427	
教員人件費			
常勤教員給与	8,686,347,443		
非常勤教員給与	2,592,634,429	11,278,981,872	
職員人件費			
常勤職員給与	6,691,826,255		
非常勤職員給与	5,776,281,898	12,468,108,153	54,846,837,444
一般管理費			1,436,058,642
財務費用			
支払利息		101,415,690	101,415,690
雑損			
その他雑損		1,455,857	1,455,857
経常費用合計			56,385,767,633
経常収益			
運営費交付金収益㈱			12,480,408,053
授業料収益			3,852,524,990
入学金収益㈱			540,396,600
検定料収益			116,903,800
附属病院収益			31,400,390,548
受託研究収益㈱			1,299,292,719
共同研究収益㈱			583,092,003
受託事業等収益㈱			302,429,260
施設費収益㈱			204,044,740
補助金等収益㈱			3,121,427,836
寄附金収益㈱			1,909,492,544
財務収益			
受取利息		30,639,235	30,639,235
雑益			
財産貸付料収入		160,286,326	
講習料収入		12,479,263	
版権料・特許料収入		342,468,570	
手数料収入		14,805,858	
物品等売払収入		13,848,720	
研究関連収入		204,397,431	
保育料収入		31,945,220	